令和7年5月20日
令和7年度　新潟市防災会議水防部会

資料４

信濃川下流河川事務所の令和7年度の主な事業について

国土交通省　北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所

信濃川下流河川事務所

令和7年度　信濃川下流河川事務所の主要事業実施箇所

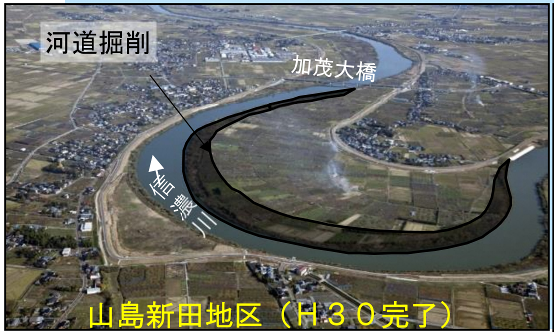
信濃川下流河川事務所

：改修事業
：維持修繕事業
：海岸事業
：災害復旧

河道掘削の進捗状況

- ○ 平成23年7月新潟・福島豪雨で計画高水位を超過した区間の水位を低下させるための河道掘削は令和2年度までに完了しました。
- ○ 河川整備計画規模の洪水を安全に流下させるため、引き続き流下能力が低い区間から順次、河道掘削を実施しています。

工種	整備計画全体	掘削済（R6年度末）	整備計画"残"
河道掘削	470万m^3	324万m^3	146万m^3



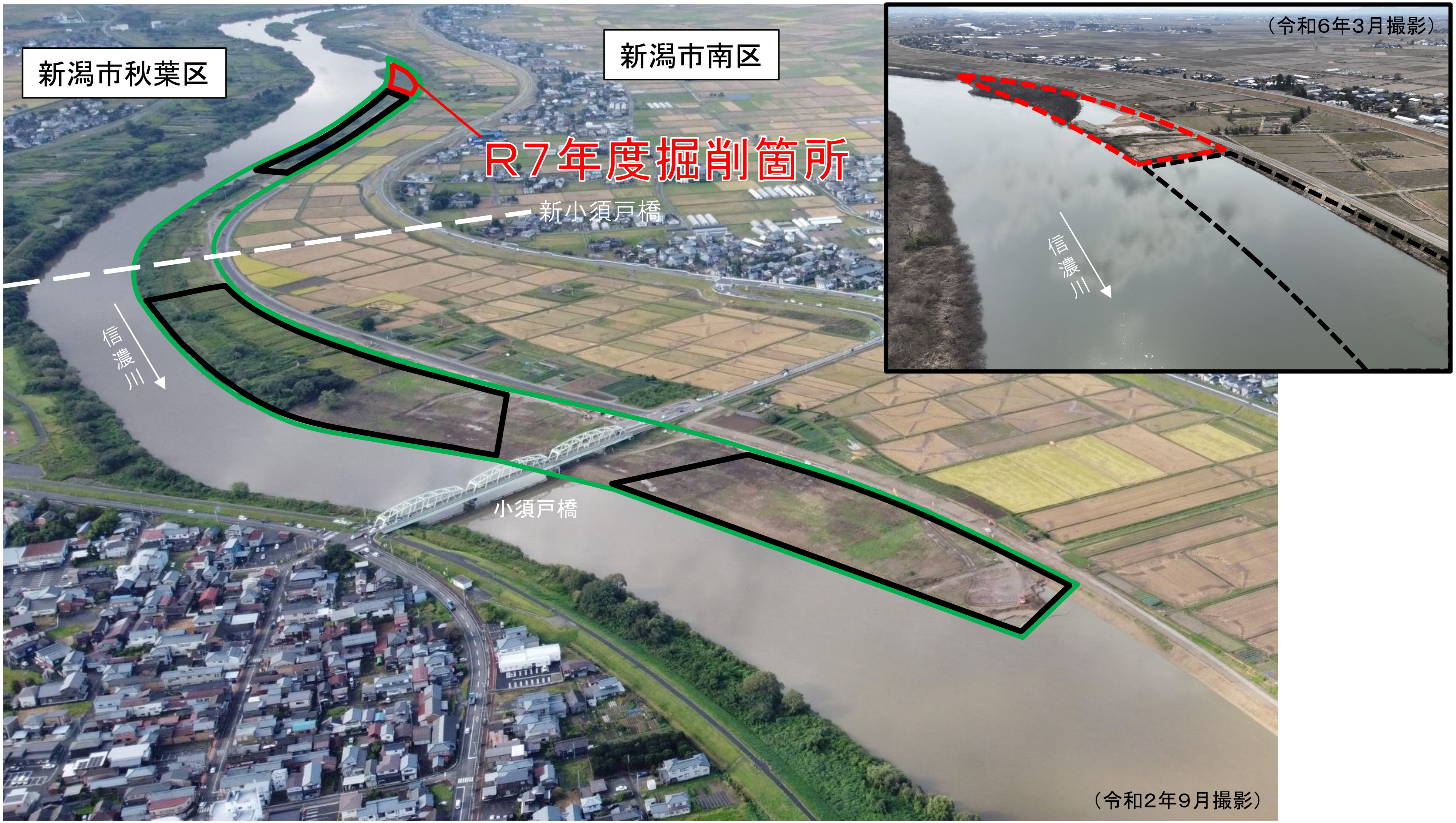
山島新田地区（H30完了）

栗林・大島地区（R2完了）

河道掘削の進捗状況(戸石地区)【工事実施中】

信濃川下流河川事務所

○ 新潟市南区戸石地区において、洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約69万m^3の河道掘削を行っており、令和7年3月時点で約6割まで進捗しています。



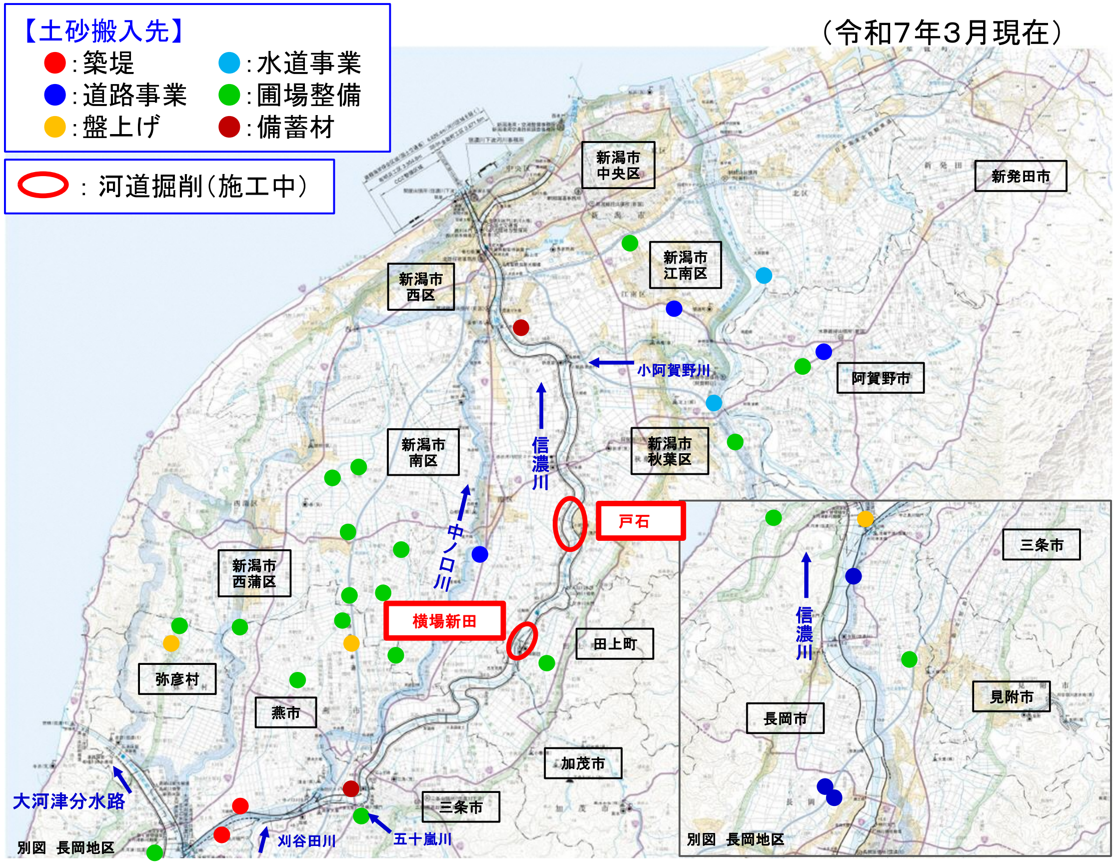
:掘削済み箇所　:令和7年度掘削箇所　:全体掘削予定範囲

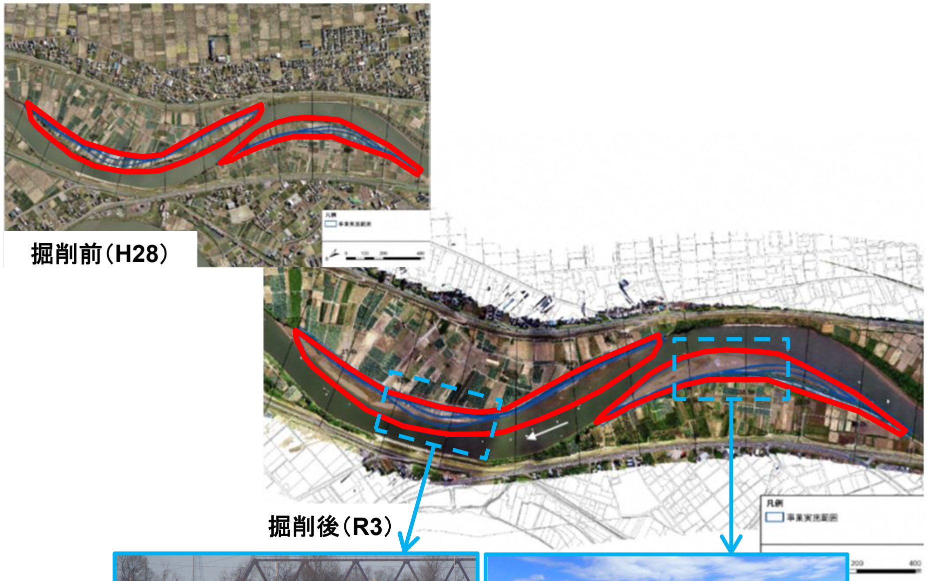
河道掘削の効果（事業連携、環境創出）

信濃川下流河川事務所

〇掘削した土砂は、農地、圃場整備や道路等の盛土に活用しています。
〇河道掘削とあわせて湿地環境を再生し、トキ・白鳥等の多様な生物が住める環境の創出に努めます。

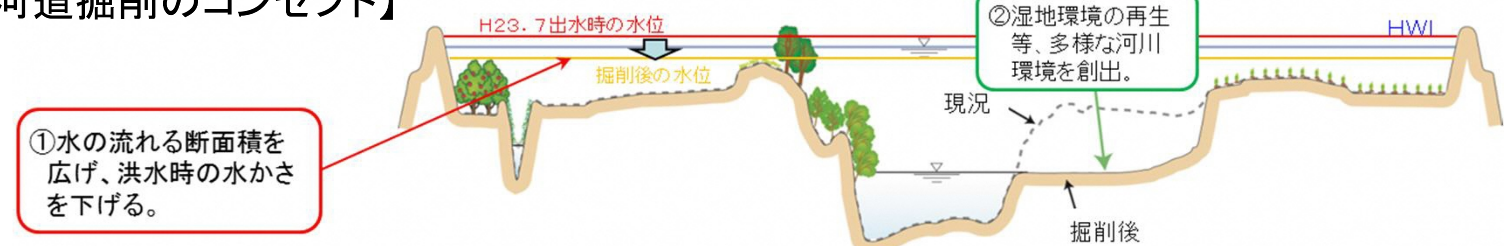
（令和7年3月現在）





環境に配慮した施工箇所の工事後の状況（栗林・大島地区）

【河道掘削のコンセプト】



小須戸橋架替【工事実施中】

信濃川下流河川事務所

- ○ 現小須戸橋は、もぐり橋のため洪水の流下阻害となっており、また、右岸側取付部の堤防では、周辺の堤防と比べて高さが不足しています。
- ○ 道路管理者である新潟市との共同事業として、令和2年度に小須戸橋の架替事業に着手し、令和16年度完成を目指して進めています。
- ○ 令和7年度は、左岸及び右岸の取付道路地盤改良工事、P1、P4橋脚工事の実施を予定しています。

平成23年7月新潟・福島豪雨時の状況(H23.7.30撮影)

水防活動により大型土のうを設置
(H23.7出水時)

水防活動により大型土のうを設置
(H23.7出水時)

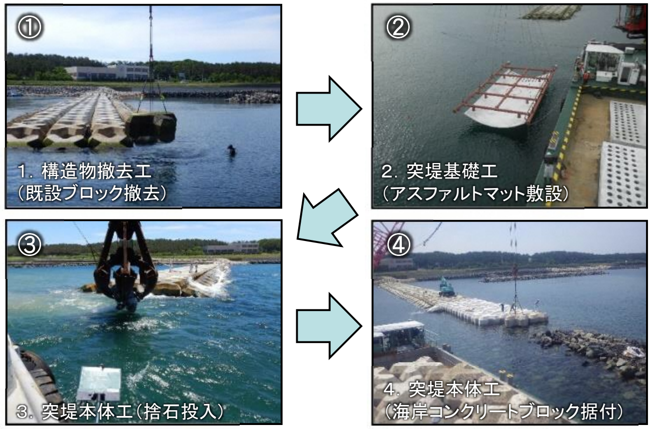
新潟海岸(金衛町工区) ヘッドランド整備 【工事実施中】

信濃川下流河川事務所

○ 海岸の侵食対策として、金衛町第1工区の第2号ヘッドランドを完成させ中央ヘッドランドに着手します。また、第2工区の砂浜を復元する養浜工事を進めています。これらの対策により、波の打ち上げ高さを低減させ、背後地の安全度を向上させます。

※ヘッドランドとは、T型または逆L型の人工岬

※人工リーフとは、人工的に造られた浅瀬



ヘッドランド施工順序

養浜状況(第2工区)
令和3年10月撮影

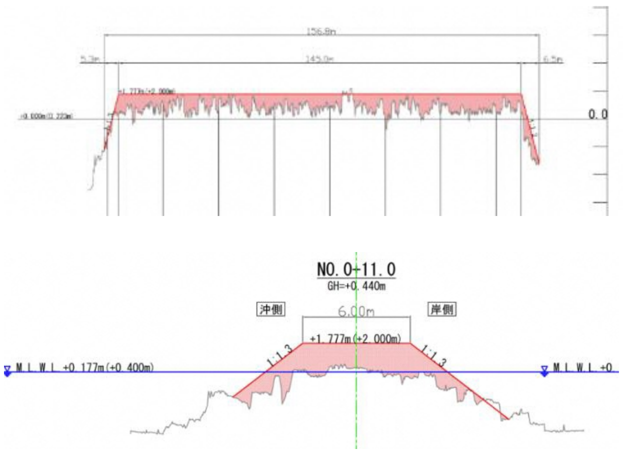
新潟海岸(有明浜工区) 離岸堤等の補修

○ 新潟海岸有明浜工区は、昭和52年度から直轄海岸として着手し、平成24年度に海岸保全施設(離岸堤、人工リーフ、緩傾斜護岸等)を完成させ、現在、モニタリング調査を行っています。

○ 完成後、十数年が経過し、沈下等の変状をきたしているため補修工事を実施しています。

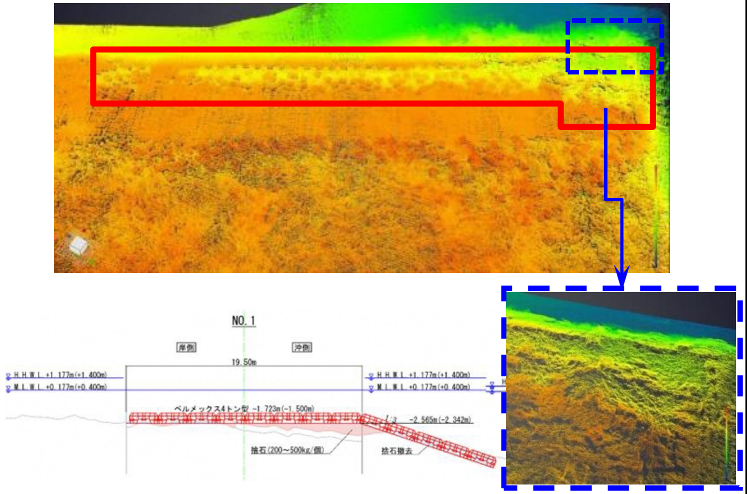
1．離岸堤　5基（D10,D16～19）

沈下等で高さが大きく不足した部分の嵩上げ



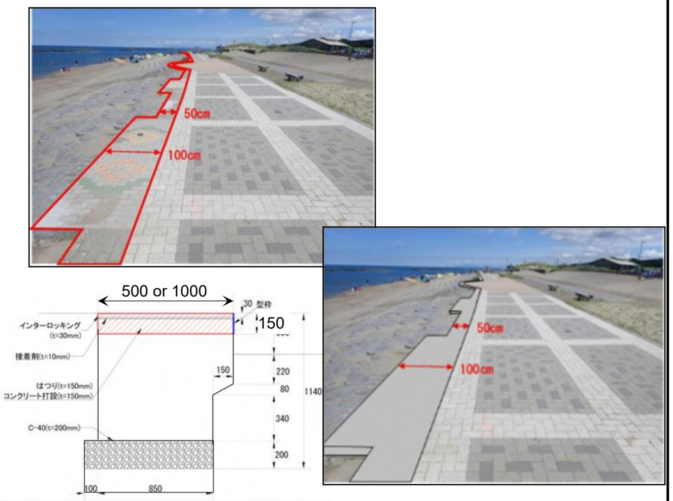
2．人工リーフ　1基（R13）

移動した被覆ブロックの再設置



3．緩傾斜護岸　1式

巻止コンクリートの打ち替え



大規模河川管理施設の維持補修

信濃川下流河川事務所

○ 信濃川下流には大規模な河川管理施設（堰、水門、排水機場）が多くあり、中には、完成後40年以上が経過し、老朽化が進行している施設もあります。
○ これらの施設が洪水時等に的確に機能を発揮するため、長寿命化計画に基づいて点検・補修を実施します。

堰・水門

塩害による腐食の影響がある部品の更新を行う。

新潟大堰主ゲート　ワイヤロープシーブの交換

ゲートの安全動作を確保するための修繕を行う。

中ノ口川水門調節ゲート　塗替塗装・主ローラ等の交換

排水機場

西川排水機場

鳥屋野潟排水機場

排水機場のポンプを点検し、必要な整備を行い
出水に備えます。

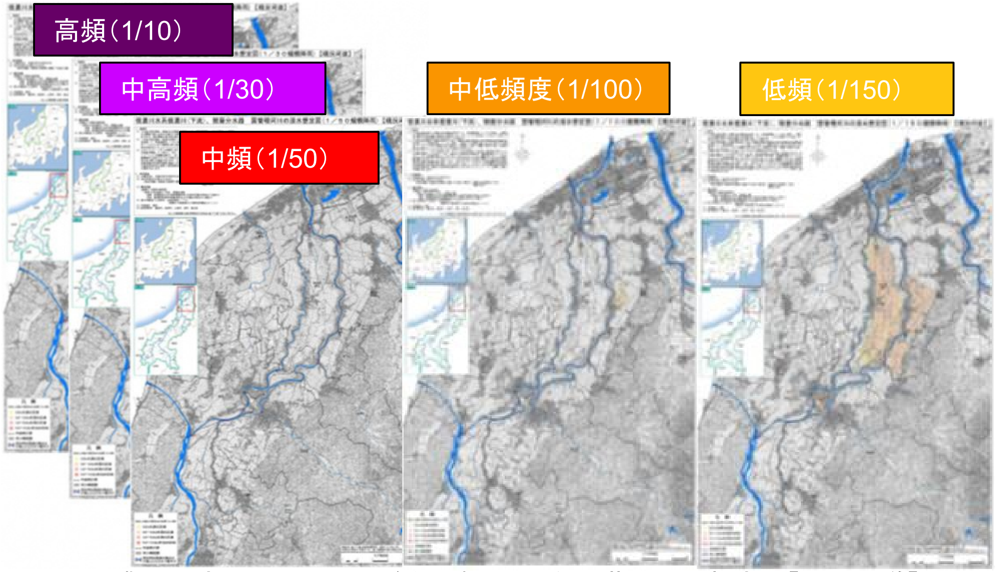
水害リスク情報の充実（水害リスクマップの整備）

〇従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進してきました。
〇今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進していきます。

■目標
信濃川下流域における外水氾濫及び内水氾濫※を対象とした、「水害リスクマップ」及び「多段階の浸水想定図」を整備していきます。
※内水氾濫の対象範囲は国管理河川の氾濫域内

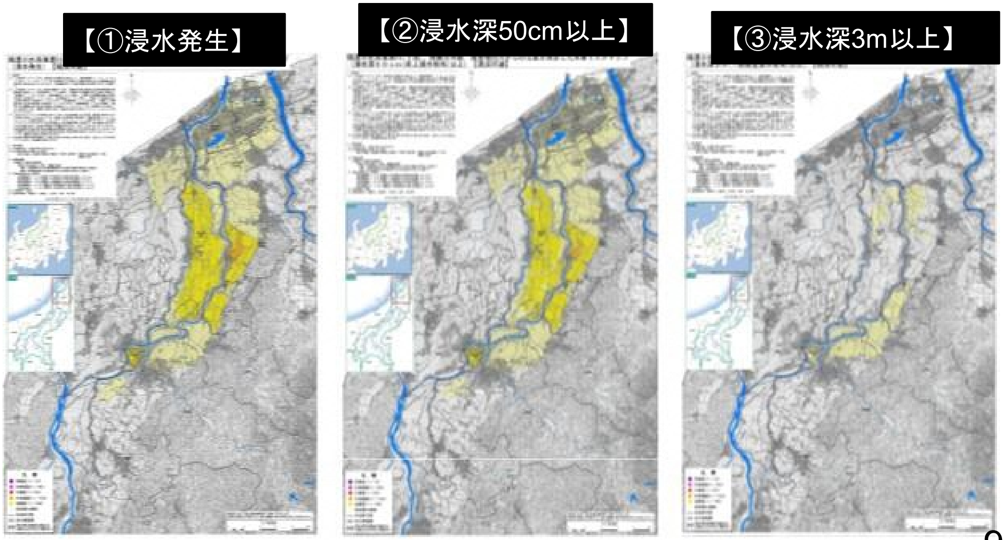
■当面の取り組み
国直轄の信濃川下流本川からの外水氾濫を対象とした、水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図をR4.12.14に公表をしました。
今後は、目標を達成するため、内水氾濫も考慮した水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図の整備を進めていきます。

■多段階の浸水想定図
各整備段階において、降雨（流量）規模別に作成した浸水想定図
※整備段階：現況、短期、中期、中長期
※降雨規模別：1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模



信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした多段階の浸水想定図【現況河道】

■水害リスクマップ
浸水深別に、各整備段階において、降雨（流量）規模の浸水想定図を重ねあわせた図
※浸水深別：【①浸水発生】／【②浸水深50cm（床上浸水相当）以上】／【③浸水深3m（1階居室浸水相当）以上】



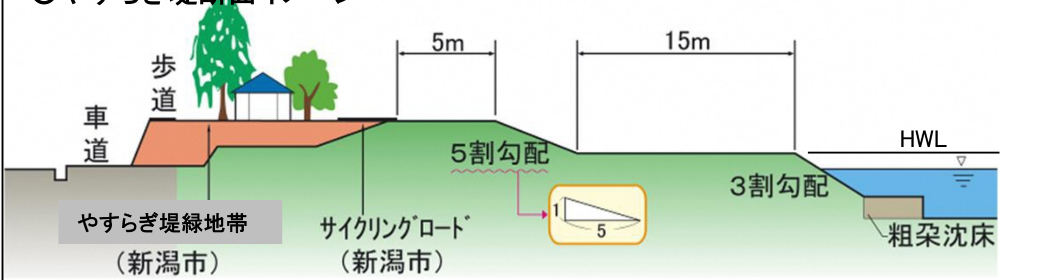
信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした水害リスクマップ【現況河道】

やすらぎ堤の整備【令和6年度完成】

○ 新潟市の市街地を流れる萬代橋から信濃川水門の区間では、洪水を安全に流すことに加え、信濃川の親水性や景観を高めるため、5割勾配のゆるやかな堤防「やすらぎ堤」の整備を行っており、令和6年度に堤防部分が完成しました。
○ このやすらぎ堤は、堤防下の地盤を強化しており、地震時にも液状化しにくい構造となっています。
○ 新潟市のやすらぎ堤緑地帯の整備と連携しながら、「水都新潟」の魅力あるまちづくりを進めていきます。

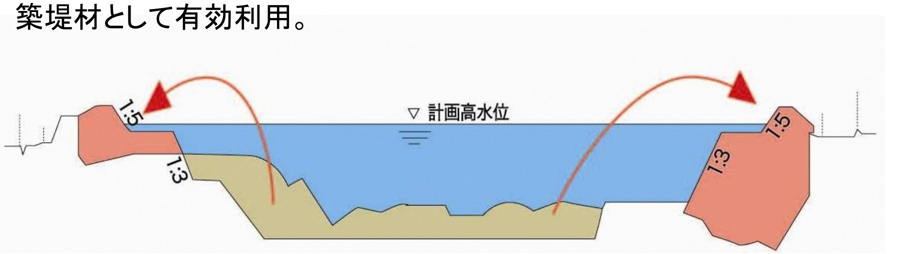
:施工済み箇所

○やすらぎ堤断面イメージ



○河道掘削土砂による築堤(整備断面図)

洪水を安全に流すため、河道の掘削を進めるとともに発生した残土を築堤材として有効利用。



やすらぎ堤にかかる経緯

信濃川下流河川事務所

年	1960～	1970～	1980～	1990～	2000～	2010～	2020～	2030～

- 1964(S39)6月 **新潟地震**が発生し、**液状化**により護岸が被災
- 1965(S40)4月 新潟県から国(直轄)に移管

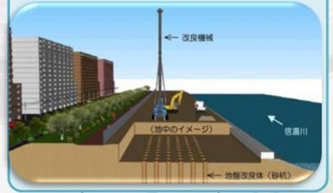
やすらぎ堤の整備

- 1983(S58)年度 **工事着手** — **完成** 2024(R6)年度

やすらぎ堤の工事・事業

静的締固め砂杭工法

堤防下に締め固められた砂杭を造成し、地盤を強化する工法。



スラリー攪拌工法

堤防下にセメントを主体とした固化材と地盤を攪拌混合し、改良杭を造成して地盤を強化する工法。

地震・津波対策事業

工事着手 2012(H24)2月 — 2015(H27)11月 **完成**

- 2016(H28)2月
  民間事業者等が店舗営業等ができるように都市・地域再生等利用区域 **指定**
- 2016(H28)3月 かわまちづくり支援制度 **登録**

さらなる利便性向上のための高水敷整備等

ミズベリング信濃川やすらぎ堤

- 2016(H28)年度 **始動**

かわまちづくり整備

工事着手 2016(H28)年度 — 2020(R2)年度 萬代橋・八千代橋間 **完成**

- 2019(R元)年度 かわまち大賞 **受賞**

信濃川左岸　りゅーとぴあ前

S39新潟地震直後

S62年頃　やすらぎ堤着工前

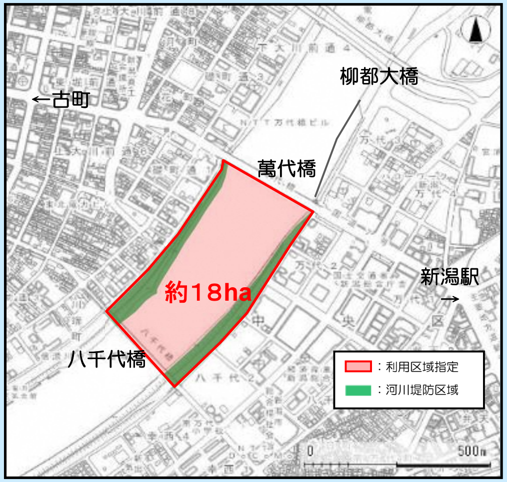
現在

ミズベリング信濃川やすらぎ堤

○ 「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」は、河川敷地占用許可準則の緩和措置を活用して、民間事業者による商業活動等と一体となって水辺に更なる賑わいを創出することで、川とまちが一体となった魅力的なまちづくりを推進し、観光振興や地域活性化に貢献しています。

○ 平成29年度からは、アウトドアメーカーが区域全体のマネジメントを担い、オープンカフェやBBQなどの飲食店等が出店しています（令和6年は6月22日（土）～9月23日（月）に開催）。

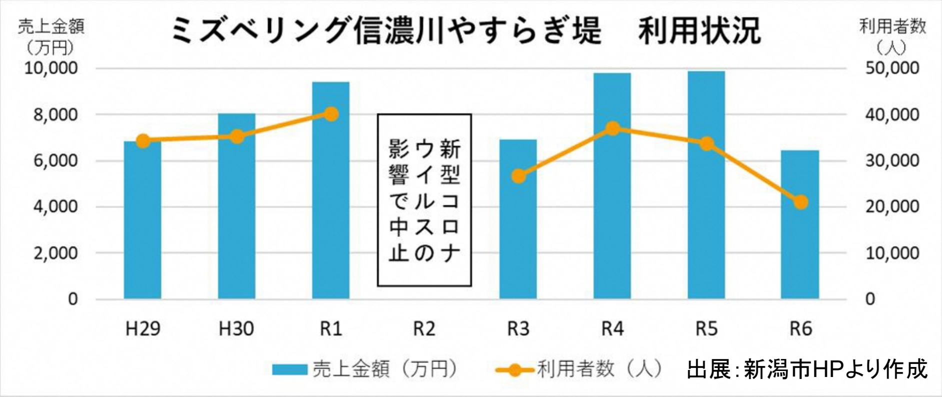
＜都市・地域再生等利用区域＞
萬代橋～八千代橋の水面を含む区域



平成28年2月に萬代橋から八千代橋の水面を含む区域が「都市・地域再生等利用区域」に指定、民間事業者による企業活動が可能。

店舗数	R6
	右岸：6

■令和6年の実施状況



■令和6年オープニングセレモニー（6/22）

信濃川下流河川事務所

X (旧Twitter)公式アカウント

防災情報や記者発表、日々の業務の様子などを発信しています。

YouTube公式チャンネル

関屋分水の紹介動画や施策に関するセミナー開催の様子などを発信しています。

関屋分水資料館

関屋分水の歴史や役割をわかりやすくパネルなどで知ることができます。

- 所在地　新潟市西区関屋1827-39
- 開館時間　4～10月（9:00～19:00）
  11～3月（9:00～16:30）